

第15回 北整北海道少年柔道形競技会 要項
(兼 文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道形競技会北海道予選)

1. 趣 旨 少年の交流と親睦を図り心身の健全なる育成を目的とする。
2. 主 催 公益社団法人北海道柔道整復師会
3. 主 管 公益社団法人北海道柔道整復師会 小樽ブロック
4. 後援 (予定) 公益社団法人日本柔道整復師会
一般社団法人北海道柔道連盟
北海道教育委員会
小樽柔道会
小樽市教育委員会
北海道柔道整復師協同組合
5. 日 時 令和7年6月15日(日) 午前9時30分 開会式
(開場：午前8時30分頃予定)
6. 会 場 小樽市総合体育館
小樽市花園5丁目2-2 電話 0134-33-3710
7. 参 加 資 格
 - ①国籍、男女を問わない。学齢適齢であること。
 - ②小学4年生以上とする。
 - ③参加団体は、「学校」「柔道場」「クラブ」「スポーツ少年団」等の単位とし、全日本柔道連盟に本年度の登録済みであること。
 - ④出場チームは、参加団体より複数チームの出場も認める。
 - ⑤チームの監督は、保護者から参加の承諾書を申し込み時に必ず確認すること。
また、監督と保護者は参加選手の大会出場にあたり、健康に異常(形競技の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
 - ⑥出場者は、所管の教育委員会又は在学校長等の承認及び許可が必要なところもあるので、遺漏のないようにすること。
 - ⑦皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合には、大会に出場できない場合もある。
 - ⑧脳震盪について、(選手および指導者は下記事項を遵守すること。)
 - i) 大会一ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ii) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - iii) 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - iv) 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
8. チーム編成 チーム編成は監督1名、選手2名、計3名とし、監督、選手はともに全日本柔道

連盟に本年度の登録済みであること。且つ、監督は全日本柔道連盟公認指導者資格を有していること。また、大会時は北海道柔道連盟発行の「指導者資格証」を必ず携行すること。

9. 全国大会出場 優勝チームは令和7年11月16日（日）の、公益社団法人日本柔道整復師会主催の全国大会に出場できる。
但し、本大会で優勝した組の選手が、北整北海道少年柔道大会の優勝チームに選手として出場している場合は、全国大会出場の権利を失い、第2位を北海道代表チームとする。
10. 競技種目 投の形（手技・腰技・足技のみ）9本
11. 競技方法 演技は各組1回とし、順序は大会事務局が抽選をして決定する。
12. 審査員 (一社)北海道柔道連盟及び、(公社)北海道柔道整復師会より3～5名を選出する。
審査員は原則、公認形審査員とする。
13. 審査方法 (1) 取・受を一体と見て評価し、「形」の技、及び「礼法」、「全体の流れ」をそれぞれ採点し、順位を決定する。
(2) 審査基準の細部、及び採点方法については、「全日本柔道連盟 講道館柔道形競技規定」に準ずる。
(3) その他、不測の事態が生じた場合の処置は、審査員長に一任する。
14. 申込み方法 北海道柔道整復師会 HP に関係書類・連絡事項等をアップロードするので、ダウンロードし、必要事項を入力。申込期日までに各ブロック柔道部長に申込むこと。
申込期日 令和7年4月28日（月）（期日厳守）
15. 参加料 1チーム 4,000 円
各ブロック柔道部長へ振り込むこと。
＊振込依頼人は、各団体名を記載して手続きすること。
16. 審査員・監督会議 北整北海道少年柔道大会の終了後に、大会場にておこなう。
17. ゼッケン (1) 参加選手はゼッケン（名字、所属名入り）を柔道衣に取り付けること。
(2) ゼッケンを取り付けていない選手は、出場できない。

布 地	白色（晒、太綾）
サ イ ズ	横30cm～35cm × 縦25cm～30cm
文字位置	名字（苗字）は上側2/3、所属名は下側1/3 横書き
書 体	太いゴシック（楷書）、男子は黒色、女子は濃い赤色
縫い位置	後ろ襟から10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける

18. 保 険 (1) 主催者は参加者全員の傷害保険に加入し、費用を負担する。
(2) 参加選手は健康保険証を持参すること
(3) 主催者は大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置は施すが、それ以外の責任は負わない。
＊万一の事故に備え、独自で傷害保険に加入するなどして万全の事故対策を立てておくこと。
19. 組 合 抽 選 大会事務局で行う。
20. 表 彰 第3位までとする。